

学校支援と地域貢献の充実をめざして

～プロジェクトの実現を通して～

【防府市 桑山中学校区】

地域の概要

桑山中学校区は、防府市の中心市街地に隣接し、農村地域と新興住宅地が混在する活動的で人の交流も盛んな地域です。桑山中学校は、華浦小校区の全員と華城小校区の9割及び新田小・佐波小の一部の生徒が通学する市内最大の中学校です。校区内の公民館では、特色ある教育活動が展開されています。

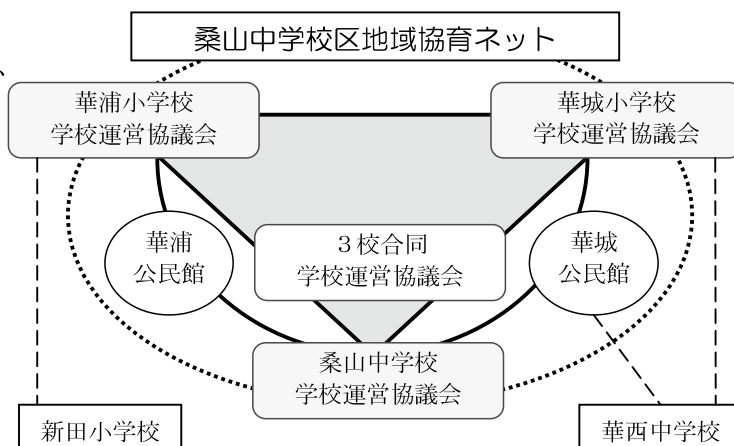
人口	23,916人	
世帯数	10,995世帯	
対象校及び児童生徒数	桑山中学校	649人
	華浦小学校	504人
	華城小学校	809人
	新田小学校	502人
	佐波小学校	470人

組織の内容

桑山中学校では、平成23年度に学校運営協議会を立ち上げ、コミュニティ・スクールとしての取組が始まっており、本年度で5年目を迎えています。この間、学校が主体となって、地域の教育力や人材を活用したり、地域からの支援を受けたりする取組や、生徒が地域に出かけて校区内の公民館の行事に参加するなど地域に貢献する取組を進めています。

桑山中学校運営協議会は年間12回の開催を計画し、学校運営、学校支援、地域貢献に関わる各取組に関する協議を行い、地域に開かれた学校づくりが進められるように各取組の充実を図っています。本校校区にある四つの小学校のうち、特に華浦小学校学校運営協議会と華城小学校学校運営協議会と連携を取りながら、3校合同の学校運営協議会を開いています。また、華浦・華城地域の各公民館と緊密な連携を取り、「地域協育ネット」を活用した教育活動を進めています。

来年度からは、右図のような連携体制で、華浦小・華城小と共通のテーマを設定し、隣接する新田小や華西中学校との連携・協働体制を図りながらより充実した取組を計画しています。



特色・重点的な取組

校区内の華浦地域と華城地域の各コミュニティとの連携が盛んで、読み聞かせなどの学校支援や、公民館が主催する行事に中学校生徒が参画する活動が進められてきました。

特に近年は、熟議を通してコミュニティ・スクールとしての活動を企画しており、先生方の思いや願いに、学校運営協議会委員の助言やアイデアを生かして実現に移す取組も始まりました。例えば、調理実習の授業でお世話になっている食生活改善推進委員さんによる、お弁当づくり教室を夏休みに行うなど、学校支援の取組が広がっています。地域貢献では、学校運営協議会を通して各取組の状況を協議して検証することにより、保護者の意識改革や、生徒会役員を中心とする啓発的活動が展開され、地域ボランティア活動への参加者数が大幅に増加するなどの効果が現れてきています。

また、新たな取組としてユニット型研修を取り入れ、授業改善に地域の方々の声を生かす取組が計画的に進められており、学校運営面での参画も充実しています。

主な活動の紹介

学校支援の活動

学校支援の活動では、本年度新たに、食生活改善推進委員による生徒対象の料理教室と、華浦・華城両公民館の支援によるプロのバイオリン演奏家によるライブ演奏会が加わりました。料理教室は、食育を目的にお弁当を自作するものでしたが、すぐに募集定員の30名に達する盛況ぶりでした。また公民館の支援を得て開催されたライブ演奏会では、視覚障害者のバイオリニストの演奏が生徒のみならず地域の方々に大きな感動を与えました。

地域貢献の活動

地域貢献の活動では、校区内の公民館の行事に中学生が参加して支援する活動がより充実しました。公民館の文化祭では募集定員を上回る参加の応募がありました。また、生徒会の参画による地域清掃活動のボランティアでは2回の異なる活動に600名を超える生徒が参加するなど、昨年度までの参加者数を大幅に上回る実績を上げることができました。各活動の定着とともに、生徒一人ひとりの意識が高まっています。

3校合同の取組へ向けた活動

来年度から始まる、新しい枠組みでの「地域協育ネット」の取組に向けた準備を進めるため、桑山中、華浦小、華城小の3校合同による学校運営協議会を立ち上げました。この合同の学校運営協議会は、各学校の学校運営協議会会長、校長、教頭で組織し、今年度中に本「地域協育ネット」として「共通テーマ」と「育てたい子ども像」を設定して、実現のための具体的な取組を、小中の連携と公民館との協働を図りながら進めています。



地域清掃ボランティア活動



バイオリニスト演奏ライブ



公民館文化祭支援ボランティア



生徒会による募金活動

成果と課題

「地域協育ネット」をベースとする地域コミュニティと連携した活動を取り入れることにより、コミュニティ・スクールの取組を充実させるとともに、地域の方々と子どもたちとの関わりが広がりました。また、様々な活動に参加した子どもたちからは、「また来年も参加したい。」、「地域の方から褒めてもらえてうれしかった。」などの感想が寄せられ、成果が上がっており、さらに充実発展させるためには、学校の教職員の当事者意識をこれまで以上に高める必要があります。なお、「地域協育ネット」の存在をもっと地域の方々に知ってもらうための情報発信が求められます。

今後の取組

これまでの成果を生かしながら、より充実した取組にしていくために、来年度から始まる体制をしっかりと整える必要があります。そのためには、3校合同の学校運営協議会を計画的に実施し、各校の取組を具現化することが求められます。全教職員が参画する組織的体制の確立と、適切な情報発信による地域への啓発などを効率的に進めていきたいと思います。また、山口CSコンダクターと緊密な連携をとって、その指導・助言を効率的に生かせるような見通しをもった取組を推進していきたいと思います。